

第7回恵那市リニア中央新幹線対策協議会【会議要旨】

日時：令和4年3月9日(水)

午後1時30分～午後3時

場所：恵那文化センター集会室

○あいさつ

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況
2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況
3. その他
 - (1) リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について
 - (2) 中央新幹線瀬戸トンネル新設工事事故について
 - (3) 岐阜県環境影響評価審査会の開催について

公開または非公開の別 公開

出席者

小坂喬峰会長、後藤康司副会長、鵜飼伸幸委員、西尾努委員、和仁誠委員、岡本光美委員、坪井弥栄子委員、瀬瀬錬一委員、西尾公男委員、堀光良委員、可知于委員、佐藤吉松委員、梅田光成委員、柘植恒雄委員、市川美彦委員、林憲二委員、西尾義男委員、田口優一委員、加藤博史委員、曾我佳奈子委員、前川登委員、大畑雅幸委員（代理出席）、平林剛寿委員（代理出席）、谷口哲也委員、柘植克久委員、林雅樹委員

傍聴人 2名

開会

○ あいさつ（小坂喬峰会長）

- ・本年度は長島トンネル工事が着手され、日吉トンネルの工事発注もあった。
- ・長島トンネル掘削準備を進められる中で、令和 3 年 10 月に中津川市の瀬戸トンネルで大きな事故が発生したため、全てのトンネル掘削工事が停止し、安全・再発防止について対策が検討されている。
- ・2 月 25 日にリニアまちづくり講演会を開催した。新型コロナウイルスまん延防止対策等重点措置の延長を受け、オンラインでの開催となった。今回の講師は恵那市出身の国土交通省不動産・建設経済局参事官の竹内氏であり、リニアを見据えた恵那市が元気になるまちづくりとして「寛容さと多様性」が重要との意見をいただいた。
- ・本日はいくつかの報告事項及び中部電力の事業説明がある。委員の皆さんから積極的に意見をいただきたい。

【報告事項】

1. リニア中央新幹線関連事業の進捗状況

事務局から、リニア中央新幹線関連事業（大井町 2 区観音寺・岡瀬沢、3・13 区青木・北関戸、7 区野尻・野畑・大井長島、8 区旭ヶ丘・長丘、長島町中野・久須見、武並町藤東部、武並町藤西部、岐阜県内）の進捗状況及び建設発生土の運搬経路及び安全対策について説明。委員より以下のとおり発言があった

報告内容

《恵那市内の進捗状況》

○大井町 2 区

- ・騒音に対する環境対策工について引き続き協議中
- ・リニア本線で分断される農業用水路の影響区域に対する地形測量を実施

○大井町 3 区 13 区

- ・令和 2 年 6 月より区分地上権設定の用地取得を継続

○大井町 7 区

- ・令和 3 年 12 月に用地補償説明会を開催し、付替え道路概要計画を説明
- ・令和 3 年 6 月に用地説明会を実施し、9 月から用地測量を実施中
- ・当地区は半地下構造トンネルにより地域が分断され、付替え道路整備も必要。約 20 戸の家屋移転が見込まれるなど、リニア全線の中で地域へ与える影響が最も大きい区間
- ・市としても地域に対して付替え道路の詳細計画を示すと共に、移転対象者の意向調査や、移転先確保に向けた検討を進める

○大井町 8 区

- ・大井町 8 区はリニア本線部分の旭ヶ丘地区と、大井非常口と斜坑を含めた長丘地区に分けられており、長丘地区の事業を先行
- ・長丘地区：令和 3 年 11 月から用地取得を開始
- ・旭ヶ丘地区：令和 3 年 11 月に用地説明会を開催
- ・令和 3 年 12 月には非常口施工ヤードの工事説明会を開催
- ・旭ヶ丘の市道付替えは、西側に迂回してリニア本線トンネルの上を交差する計画
- ・長丘の大井非常口施工ヤードは、平場造成のため最大 9m の切土を行い、概ね県道と同

じ高さまで切り下げる

○長島町

- ・一部地権者と用地立会が完了しておらず、未立会用地周辺は中心線測量も未了
- ・中心線測量完了区域は令和 3 年 12 月から区分地上権の用地取得を実施
- ・令和 3 年 3 月に追加地質調査を実施

○武並町藤東部

- ・用地測量が完了。令和 2 年 1 月から用地取得継続
- ・令和 3 年 2 月、3 月に藤地区、竹折地区で工事説明会を開催
- ・令和 3 年 4 月より恵那市で最初の工事に着手、現在トンネルの掘削準備中

○武並町藤西部

- ・A 工区（路線東側）、B 工区（路線西側）に分け、家屋移転がある A 工区を先行
- ・A 工区：令和 2 年 3 月に用地測量を実施し、令和 3 年 4 月より用地取得実施
- ・B 工区：令和 2 年 12 月より用地立会が進められ、現在用地取得に向け準備中
- ・令和 3 年 10 月に藤川高架橋工事説明会が開催され、現在環境保全計画を作成中。準備が整い次第工事着手予定

○建設発生土運搬計画及び安全対策

- ・現在、長島トンネル名古屋方と大井町口施工ヤードの建設発生土の運搬について、三郷町、山岡町の建設発生土受入施設へ搬入する計画が示された

《岐阜県内の進捗状況》

- ・中津川市でガイドウェイ側壁制作保管業務の契約締結業者決定
- ・恵那市では日吉トンネル（武並工区）ほか新設工事の契約締結業者決定

《発言内容》

（委員）

- ・大井町 7 区でリニア本線及び機能回復道路により約 20 戸が家屋移転を余儀なくされることは地域にとって大きな課題。移転対象者は移転がどうなるかについて大きな不安を持っている。
- ・市が策定した「リニアまちづくり基盤整備計画」の中で、大井町 7 区周辺に約 4ha の耕作放棄地が土地利用促進地域として検討されている。これを代替地に活用するという見方もあるが、そのためには大きな労力と期間を要することが予想される。
- ・市として土地利用促進地域の活用も含め、なんらかの方向性を示して欲しい。また、移転対象者に対する意向調査等を行うべき。この件について市長の意見を聞きたい。

（小坂会長）

- ・まず前提として、機能回復道路は恵那市が、リニア本線は JR 東海と委託を受けた岐阜県が中心となって対応し、市も協力して対応している。用地協議については岐阜県とよく相談しながら進める。
- ・代替地の協議や整備等について市が実施することは必要と考えている。現状としてはまだ計画が煮詰まっていない段階と認識している。今後、移転対象者との個別協議を重ねてしっかり対応したい。

2. 中部電力リニア中央新幹線電力供給事業の進捗状況

事務局から、中部電力リニア中央新幹線電力供給事業（500kV 恵那分岐線(武並町・長島町)、恵那変電所、154kV 送電線、岐阜県内）の進捗状況について報告。その後、中部電力から変電所、送電線建設計画について説明

《報告内容（恵那市）》

- ・ 500kV 恵那分岐線では令和 2 年 4 月から工事着手し、順調に進捗
- ・ 恵那変電所では令和 2 年 2 月から工事着手、順調に進捗
- ・ 154kV 送電線：長島町内で令和 2 年 2 月から工事着手、順調に進捗
- ・ 154kV 送電線：笠置町内では仮設調査、用地測量、補償協議実施中。令和 3 年 10 月から伐採、道路改修工事に着手

《報告内容（中部電力）》

《中部電力あいさつ》（送変電技術センター リニア関連送変電工事所長 足立久二）

- ・ リニア関連送変電施設工事にあたっては恵那市をはじめ地域の皆さんの協力によって進められていることに感謝する。
- ・ 今後の工事にあたっては安全最優先として進めたい。引続き協力をお願いしたい。

《中部電力担当者》

- ・ 恵那変電所工事、木曽川左岸送電線工事（武並町、長島町）木曽川右岸送電線工事（笠置町）の進捗状況、施工計画等説明

3. その他

事務局から「リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望」、「中央新幹線瀬戸トンネル新設工事事故」「岐阜県環境影響評価審査会の開催」について報告。委員より以下のとおり発言があった

《リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の要望について》

- ・ 昨年 11 月 29 日に岐阜県知事、沿線 7 市町の長による JR 東海への要望活動を実施

《中央新幹線瀬戸トンネル新設工事事故について》

- ・ 昨年 10 月 27 日(水)午後 7 時 20 分頃、中津川市の中央新幹線瀬戸トンネルにおいて、切羽の肌落ちにより作業員 2 名が死傷する事故が発生
- ・ 12 月 27 日、JR 東海より岐阜県に対して事故原因及び再発防止に関する報告を提出
- ・ 2 月 25 日、岐阜県より JR 東海に対し知事意見書を提出

《岐阜県環境影響評価審査会の開催》

- ・ JR 東海は環境影響評価の見直しを検討し、令和 4 年 2 月 21 日、岐阜県に対し「国道 418 号における資材及び機械の運搬に用いる車両の運行による大気質、騒音、振動について」を岐阜県に提出

《発言内容》

（ 委 員 ）

- ・いつも JR 東海からの情報を聞くだけになってしまっている。岐阜県や恵那市として、事故発生現場への立入調査をして確認できるよう JR 東海へ要望できないか。

（事務局）

- ・現地立入に対し JR 東海は否定的な立場を取っているが、岐阜県とも協力し改めて申入れを行っていききたい。

（ 委 員 ）

- ・瀬戸トンネル事故の資料は、岐阜県から意見が出て、JR 東海からこのように回答があったという理解でよいのか。

（事務局）

- ・JR 東海から報告書が出され、それに対して岐阜県から意見書が出た。現在 JR 東海が意見書に対する回答を検討している状況。

（ 委 員 ）

- ・県は地元説明をしなければ工事再開させないとしている。当市では大井、長島、武並が説明を受けると認識するが、説明会等の日程調整も事務局の方で検討して欲しい。
- ・東京の方ではトンネルによる地盤沈下等も起きている。住宅地にトンネルが通る地域ではそういった心配もある。説明会の際には地質調査の結果等を含めた説明をして欲しい。

（事務局）

- ・心配されることはそのとおりと考えている。市として地域に対しては丁寧な説明を行い、地域住民の不安を取り除くよう申し入れている。現在のところ説明会がどのように行なわれるか決まっていない。情報が入ったらお知らせする。

○閉会のあいさつ（後藤康司副会長）

- ・皆さんから貴重な意見をいただいた。市としてしっかりと JR 東海、岐阜県と協議を進め、取り組んでいきたい。今後も協力をお願いしたい。

閉 会